

ほ っ と

新たな形で動き始めたボランティア活動

コロナ禍により活動を休止していたボランティア活動も、感染予防対策を行いながら様々な形で再開し始めています。今回は、再開した活動の様子やボランティアの皆さんの思いなどに触れながら活動の今を紹介します。

コロナ禍でも施設利用者さんに演奏を通して笑顔届けたい！ (コンパニア・デ・マンドリーナ、パソコンボランティアプラザ室蘭)

コンパニア・デ・マンドリーナは、これまで高齢者施設などに訪問し、マンドリン演奏を通して施設利用者さんに笑顔を届ける活動を行っていましたが、コロナ禍により施設への訪問演奏ができずにいました。

「長引くコロナ禍で、施設利用者さんも落ち込んでいるのではないか」「訪問をしなくても施設利用者さんに演奏と笑顔を届けられないか」そんな思いからパソコン操作に詳しい“パソコンボランティアプラザ室蘭”の協力のもと、映像を介して施設に演奏を届ける

「リモート演奏会」を12月中旬に実施することとなりました。

コンパニア・デ・マンドリーナのメンバーからは、「1つの団体で取り組むことが難しいことも他団体と連携することで、ボランティア活動の可能性が広がるのが分かった。今後も、施設利用者さんが笑顔になってもらえるよう頑張っていきたい」との意気込みが聞かれました。



リモート演奏会の練習を行っている様子

児童に対して変わらぬ手話講座を提供するために (登別聴覚障がい者協会、登別手話の会)

登別聴覚障がい者協会と登別手話の会では、例年青葉小学校の手話クラブの児童に対し、ろうあ者による手話講座を通して当事者の普段の生活を伝えることや、児童との繋がりを深め合うことを大切にやってきました。しかし、コロナ禍により例年11回程度実施していたクラブ活動も今年度は全4回にまで減少。

「クラブ活動の回数は変わっても、これまでと変わらざるうあ者との繋がりを深め合えるような講座を提供したい」そんな思いから、限りある時間の中で、どのようなことができるか顧問の先生と事前打ち合わせを重ねて実施しました。

全4回のクラブ活動を終え、児童からは「最初は、どう接して良いか分からなかったけど、クラブ活動の時間に手話や身振りなどでコミュニケーションを取り、お互いのことを知り合うことができた。今後まちで耳の聞こえない人を見かけたら積極的にコミュニケーションを取っていききたい」との感想が聞かれました。



手話クラブの活動を行っている様子

社会福祉法人 登別市社会福祉協議会 登別市ボランティアセンター

〒059-0016 登別市片倉町6-9-1 登別市総合福祉センターしんた21内

【TEL】0143-88-2080 【FAX】0143-88-4546

【E-mail】info@kizuna-shakyo.jp 【HP】http://kizuna-shakyo.jp/

【相談時間】平日9:00~17:30 土日祝日・年末年始はお休みです。



この情報誌の発行は、赤い羽根共同募金の支援を受けています。

ボランティア活動保険における新型コロナウイルスの 取り扱いが改定されました。



ボランティア活動中にボランティア自身が新型コロナウイルスに感染した場合、ボランティア活動保険で補償されることとなりました。既に保険加入されている方は、再度加入する必要はありません。

なお、2020年2月以降のボランティア活動中での感染についても遡って補償されます。

【補償内容】

補償区分	保険金額
葬祭費用	実費（300万円限度）
後遺障害保険金	1,040万円（限度額）
入院保険金日額	6,500円
通院保険金日額	4,000円

よくあるご質問（Q&A）

Q1. 新型コロナウイルス感染症を発病した場合の補償の可否判断は？

A1. 新型コロナウイルス感染症を発病したかの判断は医師の診断により、医療機関や保健所等の判断、クラスターの発生状況や陽性者との濃厚接触の状況等に基づき、補償の可否を判断します。

Q2. 新型コロナウイルスに感染しても軽症や無症状の場合の補償は？

A2. PCR検査等によって陽性と判定された場合、「発病」として取り扱い、軽症や無症状の場合でも補償します。

Q3. 軽症者や無症状者がホテル等の臨時施設や自宅で療養する場合の補償は？

A3. 新型コロナウイルスを発病した方のうち、医師の指示に基づき臨時施設や自宅で療養する場合は「入院」とみなして補償します。

【注意】

「ボランティア行事用保険」「送迎サービス補償」の各プランでは補償の対象となりません。

海星高校 書き損じ・未使用ハガキ募集中

海星学院高等学校では、カンボジアの教育支援を目的に、書き損じハガキや未使用ハガキ（以下ハガキ）の寄付を呼びかける世界寺子屋運動を毎年行っています。

寄付されたハガキは募金に換わり、日本ユネスコ協会連盟を通じてカンボジアに寄付されます。1枚でも多くのハガキが集まり、カンボジアの子ども達の生活向上や教育環境の改善に繋がるよう皆様のご協力をお願いします。

ハガキについては、海星学院高等学校（受付時間：平日9:00～16:00）へお持ちいただくか、「総合福祉センターしんた21」1階アトリウムに設置している収集ボックスに投函ください。



【募集期間】

2020年11月19日～2021年2月26日

【問合せ先】

海星学院高等学校（室蘭市高砂町3-7-7）

☎0143-46-8888 担当：市川 栄作